



三月三日は五節句の一つ、桃の節句です。

室町時代から始まったと言われるひな祭りは女の子の厄除けと健康祈願のお祝いです。

宮中で女の子が遊んだ紙の着せかえ人形「ひいな遊び」と自分の災いを人形(ひとがた)に移し、川に流して災厄を祓う「流し雛」が、ひな人形になったと言われています。

さてさて、通所の皆さんが作った「ひいな人形」

「お人形は顔が命」!?

個性派ぞろいの顔ぶれです。



## 3月のできごと

- 3日 雛祭り(各事業所) 盛りだくさんで~す。
- 5日 書道教室(元亀の里)
- 8日 誕生会(元亀・通所)
- 10日 陶芸教室(通所)
- 16日 歌の発表会 西ユニット1位おめでとう♪
- 19日 書道教室(元亀の里)
- 25日 消防総合訓練(元亀の里) ご協力に感謝!
- 27日 書道教室(風和の里)

## 4月の行事

- 1日 年初式・入社式-ウエルカム 新入職員
- 1日 ~お花見(各事業所) 今年はどこに行くのかな?
- 2・16日 書道教室(元亀の里)
- 8日 花祭り(通所・丘の家) お寺さんへ
- 10・24日 書道教室(風和の里)
- 12日 誕生会(通所・元亀の里)
- 14日 陶芸教室(通所)

# ☆お誕生日おめでとうございます☆



今回は元亀の里・吉村マツセ様にお話を伺いました。

大正7年、長崎市の稲田町生まれの吉村氏。兄弟はおらず一人っ子。幼少時代は周りに男の子が多く、ビー球や鞠つきをして遊んでいたそうだ。

20歳の時、3歳年上のご主人と結婚し時津に嫁いできて、2人の子供に恵まれた。ご主人は優しく働く者。一緒に漁業とミカン栽培をして生計を立てていたそうだ。大村湾でナマコやカニ・タコ・小魚を捕っていた吉村氏は、「最近は湾の海水も汚れてきてナマコもあまり捕れんようになってきてるごたんね」と環境汚染を心配している。また、ミカン栽培は、高島というところに船で渡り、早生ミカン（50本）や甘夏（40本）を栽培されていたらしく、「船の櫓ば漕いで、片道1時間もかけて島に渡りよったけん大変やったよ」と当時を振り返る。「趣味は特になかねー・・・」とのことだが、働くことを生き甲斐とされ、70歳頃まで働き、婦人会活動なども積極的に参加され、精励恪勤な人柄を感じる。

吉村氏は、元亀の里開設当初からご主人と一緒に当施設を利用されていた。当時は時津方面から10名程の仲間と通所に通っていたが、しだいに仲間が減っていき、寂しくなったとしみじみ話されていた。

現在、元亀の里に入所している吉村氏。リハビリ室から外の風景を眺める姿をよく見かける。「田んぼや山の四季の変化を見るとが好いとると」と言われるように、昼食後は必ずリハビリ室に来ては気持ちよさそうに外を眺めている。今は、田んぼにレンゲが咲き、蛙の鳴き声も聞かれ、大きなモクレンの木に白い花がびっしりと見事に咲き誇っている景色が一望できる。（皆さんも一度御覧になってはいかがでしょうか。）

「今の楽しみは？」の問いに、「健康でいること、外出することかな」。お孫さんが5月の連休に何処かへ連れて行ってくれると言っていたと楽しみにしている様子。また、「ここのご飯は美味しく、残さず食べとるよ。健康に気ば使ってもらって、ここに入ってから体重の6kg減ったよ」と話す。「管理栄養士の若い子は大勢の人の好みば聞いて回って大変そうやね」と労いのお言葉もいただいた。（管理栄養士ファイト!）

「今のご時勢・若者に一言ないですか？」との質問に、「少しは言いたかことのあるけどいらん世話。子供・孫達がよか人間に育ってくれたけんそいだけで満足しとるとよ。お嫁さんもよか人やし、ほんとに家族に恵まれた」と嬉しそうに話す。また「子供の頃から人の悪口ば言うとも聞くとよ好かん、おおちゃく

な態度もとらんように心掛けとる」と吉村氏の優しい人柄がうかがえた。

リハビリには毎回欠かさず来られ、「早う歩いて回りたか」と歩行練習に励まれている吉村氏であった。

誰よりも元亀の里を知り尽くした吉村氏に功労賞を贈りたい！？お誕生日おめでとうございます。

# Vitality Space

## バイタリティー・スペース

「Vitality」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。せいひ会を利用される皆さんの活動にはこのバイタリティーの力にあふれています。その活動を紹介するコーナーです。

### うたの時間

甲子園

手足がおどる

私かな

茅原武知

小春日に

ボール遊びの

楽しさや

木本誠一

去年のめじろ

待って待って

やっと来る

敦子

もの言わぬ

宝子のうっし絵

みつむれば

梅の香りが身にしみて

溢れる涙とめどなし

竹下晶子

垣根越し

夕日静かに

沈みゆく

雲のさえぎり

月影のごとく

田坂晴子

そよ風に

色鮮やかな

花便り

優雅な姿

今日も明日も

平田イエ



奥月森山萬吉



奥月谷口サト

ここに載せられなかった作品もたくさんございます。



通所の作品



通所山本一枝



元亀平内重吉



元亀神近ツタ



# \* 雛祭り \*



3月3日雛祭り。それぞれの場所でさまざまな過ごし方をしていたようです。グループホームでは桜餅と甘酒を作り、昔話に花咲かせ、通所ではケーキを作ってあま〜くおいしい雛祭りを過ごしました。

風和の里では、桜もちや雛あられを頂きながら歌を歌いました。元亀の里では「誰でもきれいなお雛様！？看板」を作って記念写真を「ハイ！ポーズ。」どっちのカップルがお似合いですか？桜の花も咲き始め、春を感じる一日となったようです。



# 歌の発表会 ♪



3月16日。風和の里で、ユニット別対抗歌の発表会が開催されました。歌が大好きな利用者が、ぜひに発表会を開きたいと実現したものです。大正琴の演奏に合わせて

# お知らせとお願い

## 鯉のぼりありませんか？

ご自宅に眠っている鯉のぼりはありませんか？ぜひ、一緒に泳がせましょう！！ご協力宜しくお願いします。

## 後期高齢者医療被保険者証について

平成20年4月より後期高齢者医療制度が始まりました。75歳以上の方等の老人医療受給者証をお持ちの方に新しい保険証が3月中に送られてきているかと思えます。お早めに事務所にご提出お願いします。

# 愛の手作り劇場



2枚の写真は、3月13日、GH総出で？大根と格闘!!どうやら、干し大根と大根の漬物を作っている様子。皮をむいて丁度良い大きさにそろえて・・・ツマミ食いたいとこだけど、生大根じゃね〜。



この写真、乾しているのはワカメです。湯に入れると色鮮やかな緑に速変わり。この時期最高！美味ですよ♪

この写真は元亀の里中庭に人参の種を蒔いている様子です。元亀の里の利用者さん、リハビリを兼ねて頑張ってます。



# ケアマネの独り言

## 心の言葉

実習担当ということもあり今年初めて、長崎県立西彼農業高校の「卒業式」に出席させていただきました。（四半世紀ぶりの卒業式！？）最後まですばらしい卒業式でしたが、特に「卒業生答辞」がとてもすばらしく、感動しました。決して「大人の言葉」ではなく、どちらかと言うと「つたない表現」ではありましたが、

# 編集後記

まだ朝夕肌寒い日が続いてますが、季節は春真っ盛り。桜の花も見頃を迎えています。花見をしながらお酒を飲むと最高に美味しいですよ。花より団子という方もいらっしゃるのでは？ 今月より新年度に入ります。入学式の時期が近づいて、新年度が近づいて

すごく心に響く「いい答辞」でした。美辞麗句を並べた飾られた言葉よりも、心の真を伝えようとする純粋な表現は大人の琴線に触れてきたようです。自身も業務上、「人」との会話の機会が多いが、はたして「心の言葉」で話しているのか？キレイごとを並べた体裁のいい「大人の言葉」になっていないか、考えさせられました。今後は常にこの体験・感動を念頭において私自身が感動する「心の言葉」を伝えていきたいと思った今月でした。（敏）

の時期でもあり、新一年生が誕生します。皆さんも初々しい頃の自分を思い出してみてもいかがでしょうか？ 初心忘れべからず。（神）  
↑ニューフェイス登場です。今年度は（佳）&（神）コンビでせいひ会だよりをお送りします。（佳）